

## 2 計画の進行管理

## 2 計画の進行管理

### (1) 環境基本計画 後期行動計画

環境基本計画 後期行動計画は、ふじみ野市の豊かな自然環境と都市環境が調和する良好な環境を将来に引き継ぎ、また、地球環境保全などの環境課題に対し、市、市民、事業者が共通の目標により推進するために策定されました。

本計画は、施策の方向性である5つの「施策の柱」を定め、それぞれの柱ごとに、基本的な考え方と施策の展開方法を示し、その方向性にそって各主体が取り組む行動計画を位置づけ、より実効性あるものとするために環境指標を設定しています。

この指標は平成23年度を基準年度、平成29年度を目標年度として53の指標を定め取り組んでいます。

#### ① 平成29年度 環境基本計画 後期行動計画の進捗状況

平成25年3月に策定した環境基本計画 後期行動計画は53の指標がありますが、平成29年度については環境フェアが天候不順で中止になったため指標の11「環境フェア参加者」を評価項目からは外しています。11「環境フェア参加者」を外した52の指標のうち目標を達成できた指標は32項目となり、61%が目標を達成しています。また、目標を達成できていない未達成指標が20項目となっています。

◎行動計画の指標

番号	施策	指標項目名	所管課等	現状(値) (平成23年度)	目標(値) (平成29年度)	実績値 (H29年度)	評価	平成29年度の 課題等
1	(1) 地域と協働の体制づくり	環境活動団体・市民・事業者による情報交換や交流が図れる体制づくりの推進	環境団体、市民、事業者及び環境課	—	体制の定着	一部実施	×	市民や関係団体との協働事業等の実施に伴う情報交換や交流の他に、情報ツールを活用した情報のネットワーク化が望まれる。
2		環境活動団体・市民・事業者交流会の開催	環境団体、市民、事業者及び環境課	1回	1回	未実施	×	同じ目標を共有し、対等な立場で協力するという「協働」の取り組みの中で交流も図っていく必要がある。
3	(2) 参加しやすい協働事業づくり	(仮称)「提案型 環境協働事業推進制度」の創設	環境課	—	1回	5団体が環境協働事業を実施。	○	平成29年度新たに1団体実施し、計5団体と協働事業を行った。さらに新規事業者の参入が望まれる。
4	(1) 環境情報の提供	年次報告書の発行・市HPへの掲載	環境課	毎年実施	毎年実施	毎年実施	○	経年変化をみるうえで、毎年発行することが必要である。
5	(2) 環境調査の充実	環境調査の実施	環境課	継続実施	継続実施	継続実施	○	経年変化や汚染の傾向を把握するため今後も継続実施する必要がある。
6	(1) 環境市民の発掘・育成と体制づくり	県主催の「彩の国環境大学」などを活用した、環境市民の発掘及び育成の仕組みづくりの推進	環境団体、市民、事業者及び環境課	—	30人	未実施	×	大学の場所が本市から遠いことも参加者が少ない原因と考えられる。彩の国環境大学を修了した市民もいるため、環境市民として人材の活用について検討していく必要がある。
7		地域クリーン推進員研修会	環境課	2回	2回	2回	○	地域によっては地域環境美化自主活動とは違った形での美化活動を行っており、報告等によって把握していく必要がある。
8	(2) 環境意識の向上	環境情報掲載(市報・HP)	環境課	毎年掲載	毎年掲載	毎年掲載	○	市民アンケートによると、犬の飼育マナーやタバコのポイ捨て、不法投棄などの不満が高いので、さらなる啓発が必要である。また、苦情が多い野良猫への餌やりについても引き続き啓発していく。
9		地球環境に関する講座などの開催	社会教育課、公民館など	1回	1回	未実施	×	公民館3館 各公民館では生涯学習を始め、様々な分野での講座を開催しているが、地球環境に関するものの取り組みは実施していない。
10	(1) 各世代や地域、家庭に合わせた環境教育・環境学習の推進	環境フェア参加団体	環境課	18団体	20団体	17団体+1個人	×	参加団体の固定化及び高齢化が見られ、事業のマンネリ化を防ぐために新たな団体の勧誘や新たな試みを考えていく必要がある。
11		環境フェア参加者	環境課	1,500人	1,500人	天候不順により中止	—	台風21号に伴う天候不順により平成29年度の環境フェアは中止となった。
12		子どもエコクラブ登録	環境課及び各学校など	0	7校	1団体	×	新たな団体の登録もなく、登録団体数は1団体となった。
13		小中学校と各地域などの協働による環境フェア	環境課及び各学校など	—	1回	1回	○	環境フェア事実は中止となったが、環境フェアにて吹奏楽部の演奏や、クラブ活動の成果を展示する予定だった。後日、環境ポスターの表彰式を市長公室で行った。
14	(2) 生涯学習の場における環境教育・環境学習の推進	環境関連の講座などの開催	社会教育課、公民館など	3回	3回	大井中央公民館 自主事業 1回	○	大井中央公民館 衛生及び安全管理の配慮が課題となっている。今後の事業のあり方などについて企画の見直しが必要となっている。
15	(1) 清潔で憩いのあるまちづくり	地域環境美化自主活動	環境課	79回	80回	107回	○	平成29年度は目標を達成した。引き続き地域環境美化自主活動に対する支援を行っていく。
16		タバコのポイ捨てなどの禁止キャンペーン	環境課	適宜実施	適宜実施	2回	○	年2回のポイ捨てキャンペーンに加え、ポイ捨て禁止の啓発看板を設置するなど啓発活動を行っているが、市民のポイ捨てに対する不満度は高く、さらなる啓発活動を行っていく必要がある。
17		犬の飼い方マナー教室	環境課	1回	1回	1回	○	犬の飼い方・しつけ方教室などを通して犬の飼い主のマナー啓発をしていくことが必要である。
18		公園愛護会の支援	公園緑地課	47団体	47団体	45団体	×	会員の高齢化により、活動の継続に苦慮している。

番号	施策	指標項目名	所管課等	現状(値) (平成23年度)	目標(値) (平成29年度)	実績値 (H29年度)	評価	平成29年度の 課題等
19	(1) 清潔で憩いのあるまちづくり	道路サポート活動の支援	道路課	19団体	21団体	26団体	○	会員の高齢化により、団体を継続していくのに苦慮している。
20		花いっぱい運動推進委員会の支援	協働推進課	65団体	78団体	49団体	×	今後は花壇の整備などの通年行事への参加を、役員のみならず委員会全体へ浸透させていく必要がある。平成28年度の課題であった会員数の増加に関しては引き続き加入促進を促していく。
21	(1) 公共施設などの安全確保	透水性歩道の整備、維持管理	道路課	34km	34km	34km	○	維持管理に苦慮している。
22	(2) 安心・安全に住みあえるまち	自主防犯団体の組織率(町会、自治会)	危機管理防災課	92.6% (50/54団体)	100% (54/54団体)	100% (57/57団体)	○	町会、自治会の組織率は、100%となったが、構成員の高齢化が進んでいる状況にあるため、幅広い世代の防犯意識を向上させ、自主防犯団体の活動を強化させる必要がある。
23		自主防災組織の組織率	危機管理防災課	74.1% (40/54団体)	100% (54/54団体)	100% (57/57団体)	○	資機材整備、防災訓練内容の充実及び地区防災計画策定等の活動強化に係る支援が必要となる。
24	(1) 安全で快適な道路環境と交通対策の推進	交通安全教室	都市計画課(警察との連携)	1回(13校)	1回(13校)	1回 (小学校13校、中学校3校)	○	小学校全13校にて自転車の乗り方を教える交通安全教室、中学校3校にてスクエア・ストリート教育技法による交通安全教室を行ったが、小中学生が被害者となる自転車事故が平成29年度でも発生している。
25		LED街路灯	都市計画課	2.1% (143/6,694基)	12.4% (863/6,934基)	100% (7,411基/7,411基)	○	市道の防犯灯及び道路照明灯はLED化したが、私道の自治会が管理する防犯灯についてLED化が進んでいない。
26	(1) 大気環境対策の推進	庁用車の低公害車導入率	資産管理課	8.1% (9/110台)	8.7% (9/103台)	38.8% (38台/98台)	○	平成29年度実施の車両入替の際も環境に優しい低公害車・アイドリングストップ車の導入に努め、全体に占める低公害車等の割合の増加を図った。平成30年度以降は当面大幅な入替は行わないが、入替を行う際には極力低公害車等の車両導入をしよう調整を図る。また、引き続き職員へのエコドライブの周知を図っていく。
27		市内自動車メーカーなどと連携したエコドライブ講習会	協働推進課その他	—	1回	0回	×	自治組織連合の環境部会で、実施するか検討していく。
28	(2) ヒートアイランド化の抑制	公共施設における屋上緑化、緑のカーテン等の設置施設数	環境課	26施設	30施設	21施設	×	前年度に比較して8施設の減だった。公民館等の施設については持ち回りでカーテンを設置しているとのこと。
29	(1) 地球温暖化防止対策の推進	公共施設のエネルギー使用量	環境課	18,897,357 kWh	17,952,489 kWh	14,323,766 kWh	○	目標を達成した。
30		公共施設の温室効果ガス発生量	環境課	21,569 t-Co2	20,491 t-Co2	31,937 t-Co2	×	エネルギー使用量は目標を達成したが、もやすごみに混入されている廃プラスチック類の割合が増加したため、温室効果ガス発生量が増加した。
31		公共施設の太陽光発電等自然エネルギーの利用率	環境課	2施設	4施設	5施設	○	1施設増え、5施設となった。
32		再生可能エネルギー補助金制度の検討	環境課	—	実施	未実施	×	以前実施していたが補助金の見直しにより廃止した経過がある。
33	(3) 有害な化学物質の対策	年次報告書	環境課	毎年実施	毎年実施	毎年実施	○	有害物質の測定データは全て公表するとともに、土壌汚染対策法に基づき指定された土地についても、常に最新の情報の公開に努めた。
34	(1) 廃棄物の抑制(リデュース)と減量化(リフューズ)の推進	レジ袋の発生抑制事業所数(1177協力店)	環境課	2店舗	2店舗	1店舗	×	制度を見直す必要がある。
35		廃棄物排出量	環境課	854.87g/日 (家庭系26,288t、事業系7,330t)	801.92g/日 (家庭系27,995t、事業系6,602t)	767g/日 (家庭系24,585t、事業系7,346t)	○	家庭系のごみ量は着実に減量化している。事業系ごみのごみ量は、横ばい状態が続いているため、啓発を強化し、減量を推進する必要がある。
36		最終処分量	環境課	1,616t	438t	493t	×	もやすごみに混入されている資源物の分別を啓発する。

番号	施策	指標項目名	所管課等	現状(値) (平成23年度)	目標(値) (平成29年度)	実績値 (H29年度)	評価	平成29年度の 課題等
37	(1) 廃棄物の抑制 (リデュース)と減量 化(リフューズ)の推 進	生ごみ処理容器助成	環境課	7基	15基	40基	○	ペランダdeキエーロ35基、コンポスター5基 ミニキエーロづくりなど、引き続き環境講座等で積極的にアピールを行っていく。
38	(2) 再使用(リユース)・再生使用(リサイ クル)の推進	焼却ごみ量	環境課	24,342 t/年	28,071 t/年	24,142 t/年	○	もやすごみに混入されている資源物の分別について、啓発を強化し、減量を推進する必要がある。
39		資源化率	環境課	30.6%	35.8%	28.4%	×	新環境センターで飛灰の資源化を実施した。さらに分別の啓発に努め、資源化を推進する必要がある。
40		集団資源回収	環境課	1,040 t	1,088 t	481kg	×	主旨に賛同する実施団体の増加を推進する。
41		リサイクルプラザの建設	環境センター	計画策定	平成28年ま でに設置	100%(進捗状況) 施設完成	○	目標を達成した。
42	(3) 廃棄物の適正処 理	美化パトロール	環境課	72回 (月6回)	48回 (月4回)	随時	×	埼玉県と連携し、パトロールを効果的に行う。
43		不法投棄ごみ対策(回収量の削減)	環境課	6,240kg	3,120kg	6,170kg	×	不法投棄防止看板の活用や不法投棄パトロールにより対策を行う必要がある。
44	(1) 緑の保全	緑地保護地区面積	公園緑地課	157,050㎡ (H24年度)	148,885.4㎡	118,181㎡	×	相続の発生等に伴う緑地保護地区指定解除の協議が増加している。
45	(2) 緑の再生・創出	緑地面積(市が管理する緑地)	公園緑地課	57,184.76㎡	57,184.76㎡ (現状維持)	60,711.28㎡	○	既存緑地の保全に努める。
46		緑に関する講座や実践 講習	社会教育課、公民館、上福 岡歴史民俗資料館、大井郷 土資料館など	1回	1回	上福岡公民館 自主事業 1回 協働事業 1回	○	上福岡公民館 かつての「花いっぱい運動」のように地域に根ざした活動にしていくためには、行政 の関与を減らし、団体が主体として活動を拡大継続していくことが望ましい。
47		(1) 水辺環境の保 全・再生	新河岸川の協働による美化活動	道路課	2回	2回	2回	○
48	(2) 新河岸川などの 水質改善	年次報告書	環境課	毎年実施	毎年実施	毎年実施	○	経年変化や汚染の傾向を把握するため、今後も継続実施する必要がある。
49	(1) 地域の歴史と自 然景観の保護活用	環境と歴史、文化財に関する講座	社会教育課、公民館、上福 岡歴史民俗資料館、大井郷 土資料館など	1回(31人)	2回(60人)	大井中央公民館 自主事業 3回	○	大井中央公民館 分館の協力を得て、地域の住民を対象とした地域の歴史等を地域の学識経験者等から 学ぶ内容としているが、事業の実施にあたって分館ごとに差異があるため、分館 を主体として拡充していくことが必要である。
50	(1) 生態系の保全・ 再生	新河岸川旧河川敷ビオトープ箇所数(及びビオ トープによる研究)	道路課(及び学校)	3ヶ所	3ヶ所	2ヶ所	×	維持管理に苦慮している。
51	(2) 環境に配慮した 農地の保全	みどりの学校ファームによる自然体験	産業振興課、学校教育課 (各学校)	19校	19校	19校	○	学校応援団やPTA、地域の方々との連携・協力を推進していくとともに、地域協 働学校の取組と関連させながら、学校ファームのさらなる充実を図っていく。
52		市民農園の設置	産業振興課	2園	6園	7園	○	市民農園として条件に合った土地を選定する必要がある。
53		地元農産物の販売による地産地消	産業振興課	6回	16回	25回	○	出店者が固定されてしまっている傾向にある為、新規参加者を増やしていきたい。

## ②協働の仕組みづくりの進捗状況

前期行動計画からの協働モデル事業は、団体の自主的な協働事業を推進するため、また、施策の柱1で位置づけられている大項目の「協働の仕組みづくり」を構築するため、「協働事業補助金」を活用して以下のとおり協働事業を実施しました。

- (1) 環境情報ネット・・・「ふじみ野市環境情報誌の発行事業」
- (2) 花と緑部会・・・「緑のカーテン普及啓発事業」
- (3) 環境緑化をすすめる会・・・「遊休農地の緑化事業」
- (4) 文京学院大学環境教育研究センター・・・「ふじみ野市環境協働推進パネルディスカッション」
- (5) 上福岡駅前に花と緑を育てる会

### (1) 環境情報ネット

1 提案事業名	ふじみ野市環境情報誌「はらっぱ」の発行事業
2 事業の目的と事業内容等	<p>ふじみ野市を中心とする市民、事業者及び教育機関などと連携して、多種にわたる幅の広い環境分野の情報を市民の皆様にご提供できるよう「環境情報誌」を発行しています。また、情報誌の編集活動や取材を通し、市民の環境意識の向上を図り、自ら行動できる環境市民の育成までを意識した活動をしています。</p> <p>情報誌としては、A4版の8頁で構成しており、平成29年度は全2号を発行しました。写真やイラストを駆使し、市民感覚でわかりやすく、皆様から親しまれる「環境情報誌」を目指し、今後も継続して発行していきます。</p> <p>発行までには、編集会議を数回実施し、取り上げるテーマや記事などを決め、取材対象、担当編集員の割り振りなどを行い、約2～3か月の期間をかけて編集作業を行っています。スタッフで協力、分担し、編集員が負担にならない範囲で原稿を持ち寄り、編集作業など活動をしています。</p>
3 事業の期間	平成29年4月1日～平成30年3月31日 (環境情報誌、第9号及び第10号の発行)



(2) 花と緑部会

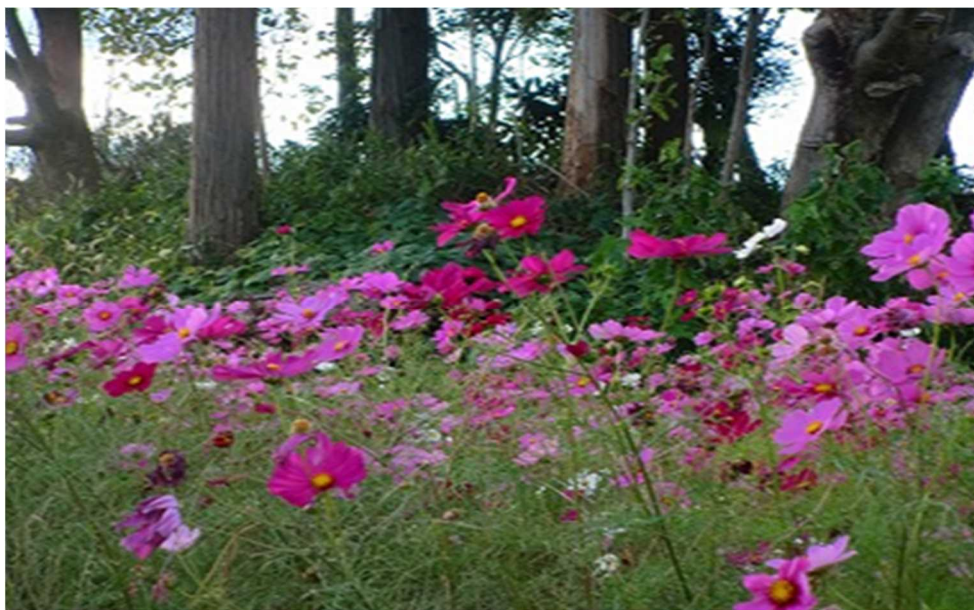
1 提案事業名	緑のカーテン普及啓発事業（緑のカーテン用苗無料配布事業）
2 事業の目的と事業内容	エネルギー問題、自然環境問題（CO <sub>2</sub> ）などに広く意識を持って、行動してもらうため、「緑のカーテン」用苗の無料配布（種より育てる）や「緑のカーテン」育成講座を実施しています。また、環境フェアにおいて緑のカーテン・コンテスト用写真を応募して頂き、市長賞等を贈呈しています。
3 事業の期間	平成29年4月～平成30年3月
4 事業実施状況	
（年月日）	（事業実施内容、参加人数等）
平成29年 5月7日	緑のカーテン用苗配布事業（600株配付） （午前）大井中央公民館 （午後）ココネ広場
5月14日	緑のカーテン育成講座実施
5月14日～ 9月27日	市役所本庁舎前に「緑のカーテン」設置、栽培
10月22日	緑のカーテン・コンテスト（応募総数32件） 環境フェアが中止になったため11月に入賞者を表彰、その後2月まで環境センターにて展示。





(3) 環境緑化をすすめる会

1 提案事業名	遊休農地の緑化事業
2 事業の目的と事業内容	市内の遊休農地を活用した緑の再生と自然体験の場をつくり、遊休農地にコスモスを育て、周辺環境との調和を保ち、土ぼこりの発生を抑制させる事業です。また、周辺住民にコスモスの花を摘んでもらい愛でていただきます。
3 事業の期間	年間
4 事業実施状況	
(年 月 日)	(事業実施内容、参加人数等)
平成 29 年	
5 月 23 日	コスモス種購入
5 月 30 日	麦刈り・脱穀 (風の里園児参加) 種蒔き準備 10 人参加
6 月 26 日	織部塚周囲畑にコスモス種まき 12 人参加
10 月 10 日	織部塚草刈り・垣根設置 10 人参加
11 月 20 日	コスモス刈取り 耕耘 麦種蒔き 12 人参加



(4) 文京学院大学環境教育研究センター

1 提案事業名	環境教育及び環境活動プログラムの開発と実践
2 事業の目的と事業内容	<p>環境教育研究センターが推進する「糸車プログラム（大学及び行政、教育機関、企業、市民団体の協働実現プログラム）」の実現を目的とし、ふじみ野市役所、ふじみ野市民、花の森こども園等との協働による環境教育プログラム開発及び環境活動の実践を行う。</p> <p>具体的な事業内容としては、環境教育プログラムとしてのパネルシアター制作と公演及び環境理解促進マジックの開発とマジックショーを通じた環境活動プログラムを実践しました。</p>
3 事業の期間	平成 29 年 5 月～7 月
4 事業実施状況 (年月日) パネルシアター 平成 29 年 5 月 16 日 6 月 4 日  6 月 13 日  7 月 1 日  マジック 5 月～6 月  6 月 19 日  7 月 15 日	<p>(事業実施内容、参加人数等)</p> <p>花の森こども園にて、園児たちと学生によるパネル及び物語制作</p> <p>花の森こども園にて、園児たちと学生によるパネル公演練習</p> <p>花の森こども園 10 周年記念事業にて園児たちと公演</p> <p>金メダルプロジェクトマジック開発</p> <p>文京学院大学内にて大学生を対象としたマジック公演</p> <p>エコラボフェスタにて公演</p>

(5) 上福岡駅前に花と緑を育てる会

1 提案事業名	上福岡駅の駅前東口・西口ロータリーエリア緑地帯の花壇化、維持管理事業
2 事業の目的と事業内容	<p>・ふじみ野市の主駅玄関に相応しく、季節感に溢れた素敵な草花・花木がいつでも咲いている駅前東口・西口ロータリーエリア緑地帯にすることを目的とする。</p> <p>・当該緑地帯を無理なくできる範囲で花壇化、草花・花木を植栽、季節感を有した素敵な緑地帯にすべく自主的・主体的に維持管理する。</p>
3 事業の期間	平成 29 年 7 月～平成 30 年 3 月
4 事業実施状況	
<p>(年 月 日)</p> <p>パネルシアター</p> <p>平成 29 年</p> <p>7 月～3 月</p>	<p>(事業実施内容、参加人数等)</p> <p>週 1 回、花壇の草取り、花柄摘み並びに水遣り (毎回 15 名ほどが参加)</p> <p>年間を通じて、花が咲くように季節の花への植替えを実施</p>